

取扱説明書

保証書付き

保証書は裏表紙に付いています。

日立 **充電式** 掃除機

型式

ピービィ ビー

エイチ

PV-B300H



このたびは日立充電式掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用、屋内用です。業務用や掃除以外の目的、および屋外ではご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4~7)をお読みいただき、正しくご使用ください。

マイページ(日立の家電品お客様サポート)への登録をおすすめします。

コードを読み込むとホームページからさまざまなサービスがご利用いただけます。

※読み取れない場合<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

●家電品の登録・管理 ※マイページへの会員登録が必要です(無料)

●お役立ち情報

●パーツショップ送料特典

●お知らせ



日立の家電品
お客様サポート

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

■「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

詳しくは、マイページ(日立の家電品お客様サポート)をご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえと組み立てかた	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7

使いかた

操作部と表示部	8
スティッククリーナーの運転スイッチ	8
ハンディクリーナーの運転スイッチ	8
充電時の表示ランプ	9
運転時の表示ランプ	9
充電のしかた	10
運転のしかた	11
スティッククリーナーとして使う	11
ハンディクリーナーとして使う	12
お掃除のしかた	13
パワーヘッド	13
ハンディブラシ	14
すき間用吸口	14

お掃除が終わったら

ごみの捨てかた	15
ごみすてラインの確認のしかた	15
ダストケースのごみの捨てかた	15
各フィルタのごみの捨てかた	17
ダストケースの取り付けかた	18
お手入れのしかた	19
本体・標準付属品・付属応用部品	19
水洗いできる部品	19
各フィルタのお手入れ(水洗い)	19
お手入れのしかた(パワーヘッド)	22

こんなときは

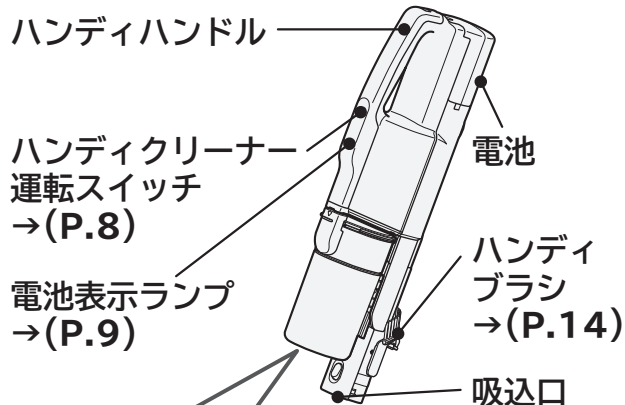
お困りのとき	24
電池の交換について	28
製品の廃棄のしかた	28
保証とアフターサービス	30
別売り部品	31
仕様	31



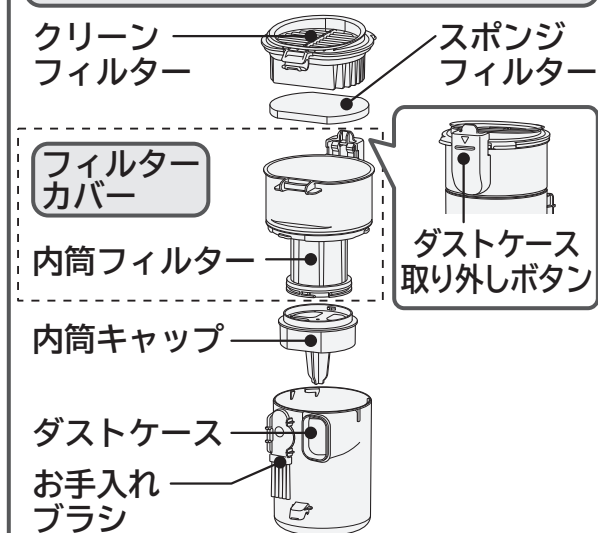
3-Q9798-R A

各部のなまえと組み立てかた

ハンディクリーナー本体



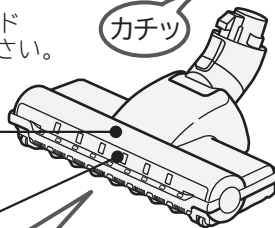
ダストケース→(P.15~21)



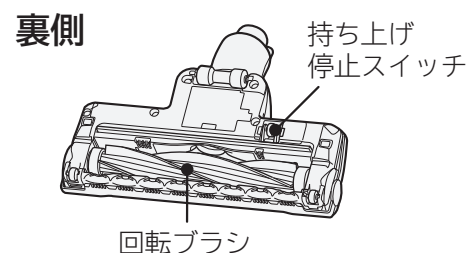
パワーヘッド取り外しボタン

パワーヘッドを外すときは、パワーヘッド取り外しボタンを押しながら抜いてください。

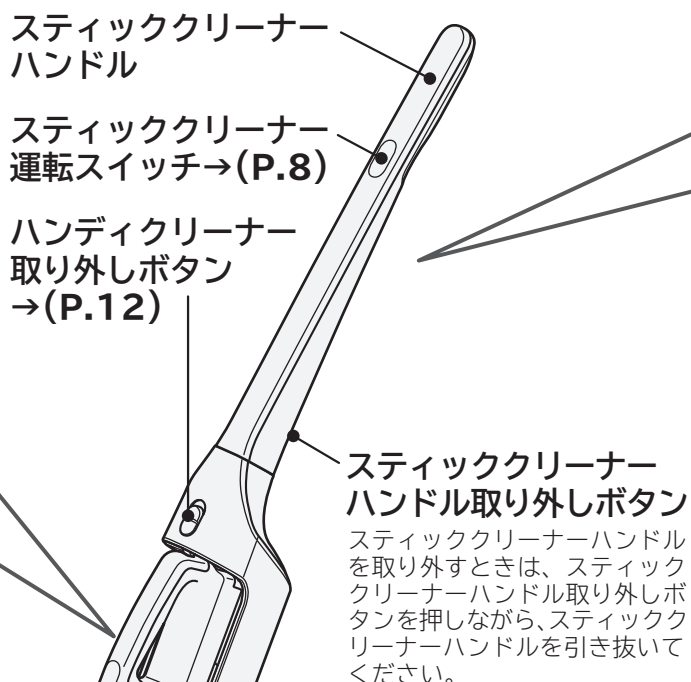
パワーヘッド→(P.13、22、23)



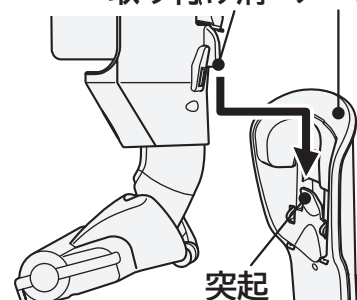
LEDライト→(P.8)



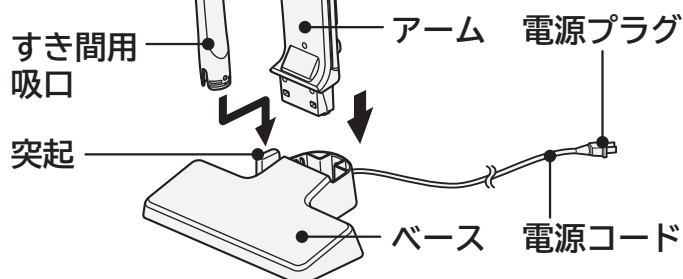
スティッククリーナー本体



取り付け溝 アーム



充電台→(P.10)

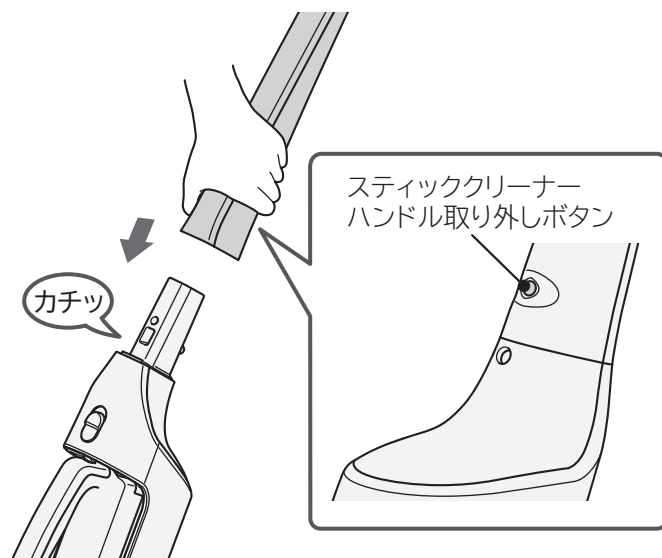


- パワーヘッドを振ると、構造上、カラカラと音が出ますが異常ではありません。
- 運転スイッチ部に保護フィルムが付いています。

- すき間用吸口は充電台ベースの突起に取り付けることができます。
- アームをベースの奥まで差し込んでください。

スティッククリーナーハンドルの取り付けかた

「カチッ」と音がするまで差し込み、スティッククリーナーハンドル取り外しボタンが飛び出していることを確認してください。



⚠ 注意

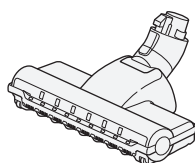
けがのおそれあり

スティッククリーナーハンドルを取り付けるときは、スティッククリーナーハンドルの取り付け部付近を持たないでください。
手を挟むおそれがあります。



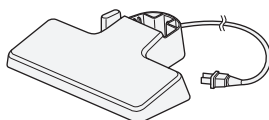
標準付属品

パワーヘッド (1個)
(スームスヘッド D-DP27)
→(P.13、22、23)

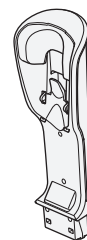


充電台

ベース (1個)
(PVC-K-02)

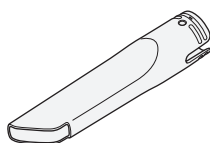


アーム (1個)



付属応用部品

すき間用吸口 (1個)
→(P.14)

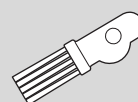


ハンディブラシ (1個)
→(P.14)



(ハンディクリーナー本体に取り付けられています)

お手入れブラシ (1個)



(ダストケース背面に取り付けられています)

標準付属品と付属応用部品は同梱されていますが、個別にお買い求めいただくこともできます。
お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.30、31)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠ 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明



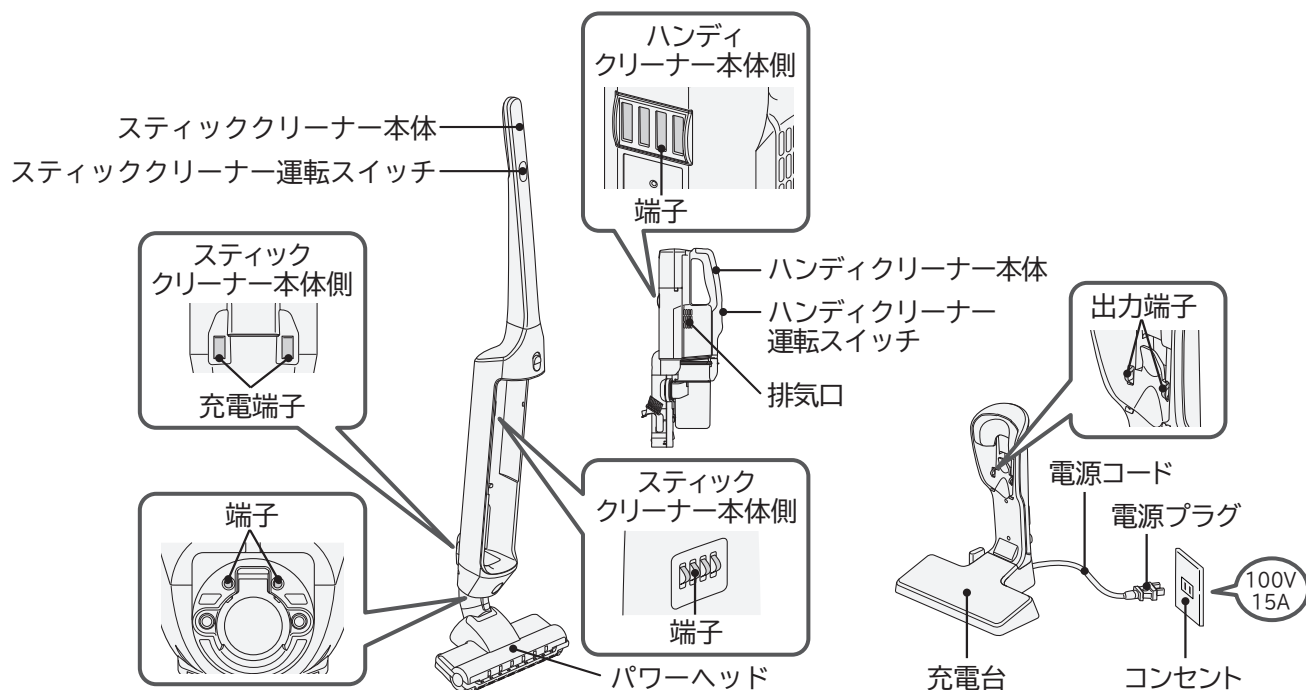
「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。



⚠ 危険



●分解したり、修理・改造しない

漏液・発熱・発火・けがの原因となります。
修理は販売店またはご相談窓口にご相談ください。

●本体・充電台に水分や液体を付着させない

電池の破裂、製品の発火・故障、感電の原因となります。

●本体・充電台の各端子間を針金やピンなどの金属で接続しない

金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
故障や電池のショート(短絡)による、漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

●火の中に投入したり、加熱しない

●火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温の場所で充電・使用・放置しない

電池の漏液・発熱・破裂・発煙・発火・本体の変形・故障の原因となります。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



- 充電が完了しているのに、本体の運転スイッチを押しても運転しない
- 電源プラグや電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体や充電台が変形していたり、異常に熱い
- 電源コードが破損していたり、異常に熱い
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常や故障がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。すぐに本体の「切」ボタンを押して運転を止め、充電台は電源プラグをコンセントから抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。→(P.30)

コンセント・電源プラグ・電源コード・充電台



- 交流100Vのコンセントを使う
延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントを使用しない。
- 電源プラグに付着しているほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 充電台のお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

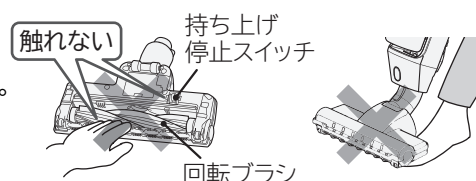


- 電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・束ね・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 電源コードをパワーヘッドの回転ブラシに巻き込まない
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない、充電台や本体の端子などに触れない
- 付属の充電台(PVC-K-02)とスティッククリーナー本体との組み合わせ以外での充電はしない
- 付属の充電台(PVC-K-02)でほかの充電式電池や、充電式ではない電池の充電はしない
火災・感電の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)



- 回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
けがの原因となります。特にお子さまにはご注意ください。
- パワーヘッドを引くときに、体の一部(足の上など)に乗り上げない
けがの原因となります。



ハンドル・その他



- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、鉄粉、洗剤、多量の小麦粉、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
- 先端が尖ったものを吸わせない(押しピン、針、つまようじ、ヘアピンなど)
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものを吸わせない
- 屋外で使用しない
- 水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
- 湿気の多い場所では充電や保管をしない
爆発・火災・感電・けがの原因となります。



安全上のご注意(続き)

⚠ 注意

コンセント・電源プラグ・電源コード

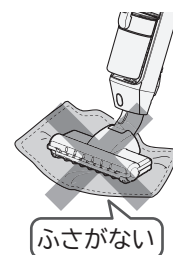


- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードを持って引き抜くと、電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
- 電源コードを充電台に巻きつけて使用しない
電源コードが破損して感電・発火の原因となります。
- 長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

パワーヘッド(吸込口)



- 吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。
- お手入れの際は、スティッククリーナー本体からパワーヘッドを取り外す
けがの原因となります。
- ほかの製品に取り付けて使用したり、ほかの製品のパワーヘッドを取り付けて使用しない
過熱による本体、パワーヘッドの変形・発火の原因となります。
- パワーヘッドが前方を向いている状態で左右に移動させない
- 砂・小石などの異物が付着したまま使用しない
床面を傷つけることがあります。
- ふとんの中に入れたまま運転しない
過熱による変形・発火の原因となります。



排気口



- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- 排気口から出る風を、長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。



ハンドル・その他



- スティッククリーナー本体を持ち運ぶときは、ハンディハンドルを持たない
スティッククリーナー本体が落下してけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
- スティッククリーナーハンドルを取り付けるときは、スティッククリーナーハンドルの取り付け部付近を持たない
けがの原因となります。
- 火気に近づけない
変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
- スティッククリーナー本体を運転したまま自立させない
- スティッククリーナー本体を壁などに立てかけたり、自立させたまま放置しない
- ハンディクリーナー本体を取り外した状態でスティッククリーナー本体を自立させない
- 収納するときは、充電台にセットする
- 充電台にセットするときはパワーヘッドを取り付ける
- 充電台は不安定な場所に設置しない
転倒による本体の破損・床面の傷つき・けがの原因となります。
- お手入れの際は、運転を止める
けがの原因となります。
- 充電台にセットした状態で持ち運ばない
スティッククリーナー本体が落下してけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
- ハンディブラシを使用せず、ハンディクリーナー本体の先端で掃除をしない
床面の傷つきの原因となります。
- 充電台の置き場所は、結露、湿気の多い場所には設置しない
床面が変色することがあります。
- 本体、パワーヘッド、充電台、付属応用品を高所から落とさない
けがをしたり、床面を傷つけたり、破損の原因となります。
- LEDライトを直視しない
目を痛めることがあります。
- 本機は製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用する
感電・けがの原因となります。
特にお子さまにご注意ください。

電池について(リチウムイオン電池)

⚠ 危険



- 電池は、本機以外の機器に接続しない
また、電池を分解・改造・はんだ付けしたり、
単独で充電しない
- 本機を廃棄する場合以外は、電池をハンディ
クリーナー本体から取り外さない
- 電池の交換をしない
お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談
ください。→(P.30)
- 金属端子部に触れたり、針金やピンなどの金属
で接続しない

漏液・発熱・破裂・発煙・発火・感電・けがの原因となります。

- 金属と一緒に持ち運んだり、保管しない
[ネックレス、ヘアピン、コイン、鍵など]
- 釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなど、
強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
- 火気に近づけない
- 火やヒーターのそば、直射日光の当たる場所、
炎天下の車内など、高温の場所に置かない
- 本機専用の電池以外使用しない
- 電子レンジやオーブンに電池を入れない
- 水(液体)につけたり、かけたりしない



電池内の液体が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師に相談する
目に障害がおきる原因となります。

⚠ 警告



- 落下などで電池が液漏れしたり、異臭、変色、変形、傷つき、
そのほか今までと異なることに気付いたときは使用しない
発熱・破裂・発煙・発火の原因となります。電池内の液体が
床に付着すると損害を与えることがあります。
- 乳幼児の手の届くところに置かない
感電・けがの原因となります。
- 電池が液漏れしている場合、素手では触れない
皮膚がかぶれる原因となります。



電池内の液体が皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流したあと、直ちに医師に相談する
皮膚がかぶれる原因となります。

⚠ 注意



- 室温が5℃以上35℃未満の所で充電する
室温が低い場合や直射日光が当たるなど高温の場所では、正しく充電されず運転時間が短くなったり、
充電時間が長くなることがあります。また、電池劣化の原因となります。
- 所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く
- 充電中や運転中は、電池に長時間触れない
低温やけどの原因になります。
- 湿気やほこりの少ない場所で保管する
発熱・破裂・発煙・発火の原因になります。

使用上のおお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。

また、本文中の **お願い** 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●本体、パワーヘッド、充電台、付属応用部品を強く
ぶつけない
変形・破損の原因となります。 ●次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉 ・長いひも ・ガラス | <ul style="list-style-type: none"> ●本体、パワーヘッド、充電台、付属応用
部品に乗らない
破損や故障の原因となります。 ●水洗いした部品は、陰干しにして十分に
自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。 |
|---|--|

操作部と表示部

スティッククリーナーの運転スイッチ

運転するとき

強/標準 ボタンを押すごとに、「強」→「標準」→「強」・・・の順に切り替わります。

強 じゅうたんの念入りなお掃除に

標準 普通のお掃除に

パワーヘッドのLEDライトが点灯します。→(P.2)

強/標準

切

運転を止めたいとき

切 ボタンを押します。

ハンディクリーナーの運転スイッチ

運転するとき

強/標準 ボタンを押すごとに、「強」→「標準」→「強」・・・の順に切り替わります。

強 念入りなお掃除に

標準 普通のお掃除に

電池

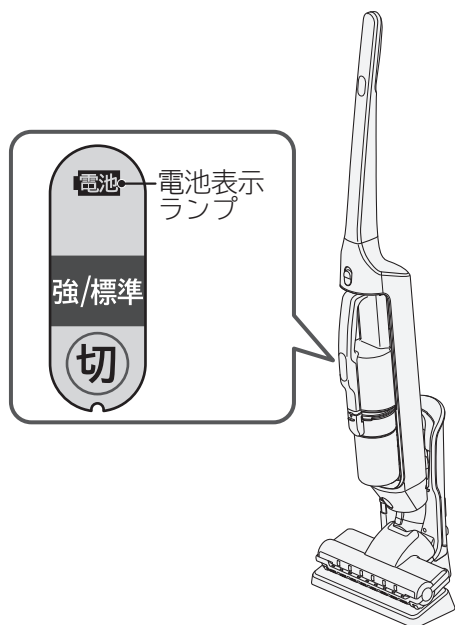
強/標準

切

運転を止めたいとき

切 ボタンを押します。

充電時の表示ランプ



電池表示ランプ	充電状態
赤色点灯	充電中です。 充電時間は約4時間ですが、周囲温度・使用時間などにより、電池の温度が高くなる場合があります。その場合、充電に適した温度に下がるまで自動的に待機するため、充電時間が長くなる場合があります。→(P.27)
消灯	充電完了(満充電) 充電が完了すると消灯します。

※電池表示ランプが早点滅(1秒間に約2回点灯)した場合は、充電台または電池の異常です。→(P.27)

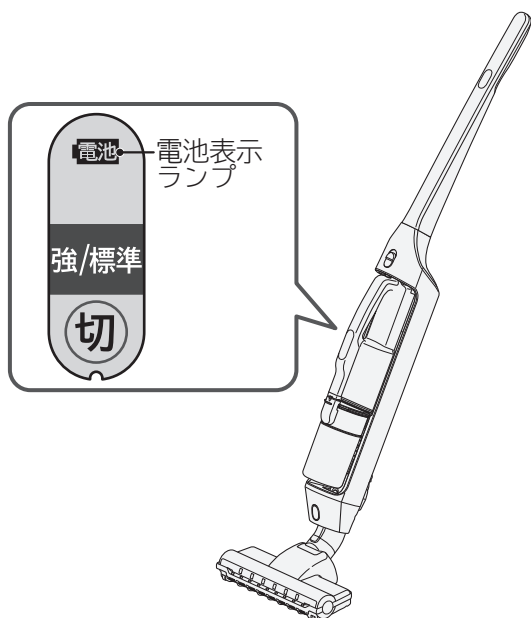
※電池表示ランプが消えた状態でスティッククリーナー本体を充電台から外し、再び充電台にセットすると電池表示ランプが点灯しますが、異常ではありません。



警告

充電台の出力端子やスティッククリーナー本体の充電端子などに触れない
感電、けがの原因となります。

運転時の表示ランプ



表示ランプのサイン		運転状態
電池	消灯	電池残量が多い状態です。
	赤色点滅 (1秒間に約1回点灯)	電池残量が少ない状態です。 充電してください。

※使用環境によって早めに点滅する場合があります。

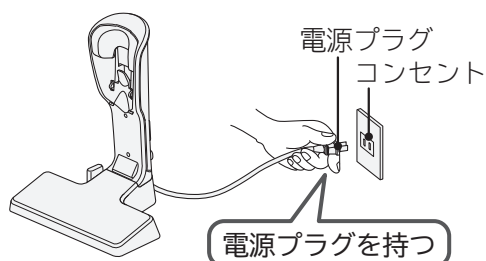
※電池表示ランプが早点滅(1秒間に約2回点灯)した場合は、本体モーターの温度が高いか電池の異常です。→(P.27)

※電池表示ランプが遅点滅(4秒間に約1回点灯)した場合は、電池の過熱を防ぐための保護運転となっております。その際、吸込力が弱くなる場合があります。→(P.24)

充電のしかた

ご使用前に必ず充電してください。お買い上げ時は電池が十分に充電されていません。
充電時間は約4時間です。(周囲温度・使用時間などのご使用条件により、充電時間が異なる場合があります)

1 充電台の電源プラグをコンセントに差し込む

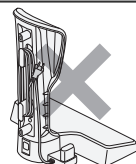


⚠ 警告

付属されている充電台(PVC-K-02)以外は使用しない
感電・けが・故障の原因となります。

⚠ 注意

感電・発火のおそれあり
電源コードを充電台に
巻きつけた状態で電源
プラグをコンセントに
差し込まないでください。



2 スティッククリーナー本体を充電台にセットする

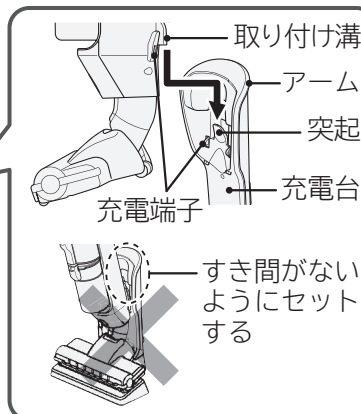
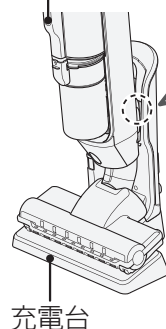
⚠ 注意

けが・床面に傷をつけるおそれあり

充電台にセットするときは、パワーヘッドを取り付けてください。

- スティッククリーナー本体の取り付け溝を充電台の突起に差し込みます。
- 充電台にスティッククリーナー本体がセットされると、電池表示ランプが点灯します。
- 電池表示ランプが点灯しないときは、スティッククリーナー本体と充電台のアームにすき間がないようにセットし直してください。
スティッククリーナー本体と充電台のアームにすき間があると、正常に充電できない場合があります。
- 充電が完了すると、電池表示ランプが消灯します。

電池表示ランプ



⚠ 注意

傷を付けるおそれあり

- 充電台は床などの平らな場所に置いてください。
- 充電台や本体を床などの平らな場所に置いたまま引きずらないでください。

初めてお使いのときや数日間お使いにならなかったときは

- 運転時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。
- 使用前に再度充電することをおすすめします。

- ハンディクリーナー本体をスティッククリーナー本体に取り付けた状態で充電してください。
- 電池表示ランプが消灯(充電完了)しているときに、一度スティッククリーナー本体を充電台から外してすぐに充電台に戻したり、ハンディクリーナー本体をスティッククリーナー本体から外してすぐに戻すと、電池表示ランプが点灯(充電中)しますが、異常ではありません。
- 充電中、本体や充電台があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 充電中に運転スイッチを押しても、本体は運転しません。

お願い

- 室温が5℃以上35℃未満の所で充電してください。室温が低い場合や直射日光が当たるなど高温の場所では、正しく充電されず運転時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。また、3時間以上高温または低温の場所で充電すると、電池表示ランプが早点滅(1秒間に約2回点灯)します。その場合、室温が5℃以上35℃未満の所で充電し直してください。
- 電池表示ランプが点灯しないときや、すぐに消灯するときは、スティッククリーナー本体を充電台から外して、再度セットしてください。
- ラジオの近くで充電すると雑音が入り、放送が聞きにくくなる場合があります。充電台は、ラジオから2m以上離れているコンセントに差し込み、スティッククリーナー本体を充電してください。

電池を長持ちさせるために

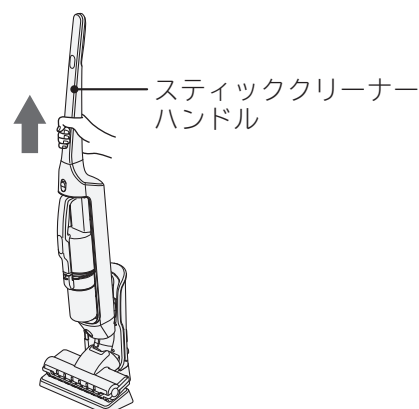
- 使用時間にかかわらず、掃除が終わった後は充電してください。
- 1か月以上使わないときは、満充電にしてから充電台の電源プラグをコンセントから抜いて保管し、1年に1回は充電してください。(電池残量がない状態で保管すると、電池の性能低下や寿命低下の要因になります)
- 掃除中に電池が切れて運転が停止したとき、再度運転スイッチを押すと少し運転することがありますが、このような操作を繰り返さないでください。電池寿命が短くなります。
- 電池は消耗品です。繰り返し使用することで使用時間が徐々に短くなります。
その場合は、電池を交換してください。(有償)→(P.28)

運転のしかた

スティッククリーナーとして使う

1 スティッククリーナー本体を充電台から取り外す

スティッククリーナーハンドルを持ち、スティッククリーナー本体を上引き上げます。



2 運転するときはスティッククリーナー運転スイッチの **強/標準** ボタンを押す

強/標準 ボタンを押すごとに、「強」→「標準」→「強」……の順に切り替わります。
連続使用時間は「強」：約15分、「標準」：約40分です。
※寒いところでは運転時間が短くなる場合があります。

⚠ 注意

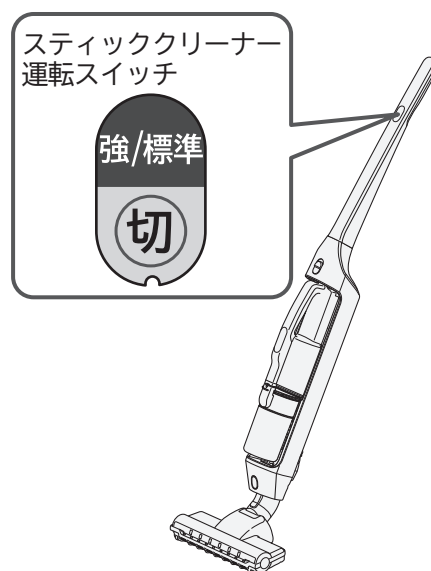
けが・床面に傷を付けるおそれあり

スティッククリーナー本体を運転したまま自立させないでください。

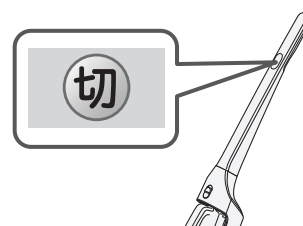
故障のおそれあり

運転中にハンディクリーナー本体を着脱しないでください。

ハンディクリーナー運転スイッチを押しても、パワーヘッドの回転ブラシは回転しません。
スティッククリーナー運転スイッチを押してください。



4 運転を止めたいときは **切** ボタンを押す



5 ご使用後は充電する→(P.10)

運転のしかた(続き)

ハンディクリーナーとして使う

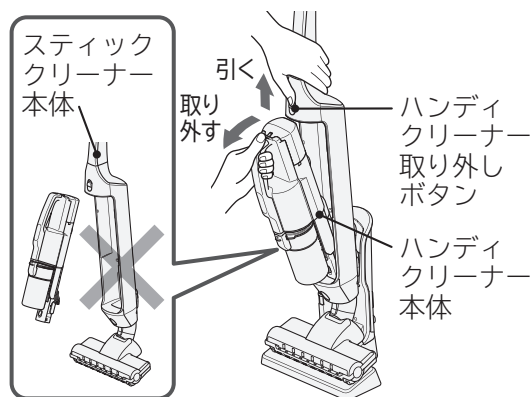
1

ハンディクリーナー本体を取り外す

運転していないことを確認し、スティッククリーナー本体を押さえながら、ハンディクリーナー取り外しボタンを引いて取り外します。

⚠ 注意

けが・床面に傷を付けるおそれあり
ハンディクリーナー本体を取り外した状態でスティッククリーナー本体を自立させない
スティッククリーナー本体が不安定になります。
充電台にセットするか、床面に寝かせて置いてください。



2

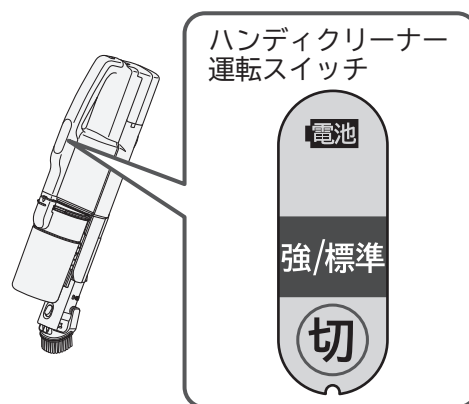
ハンディブラシを回転させる または付属応用部品を取り付ける→(P.14)

3

ハンディクリーナー運転スイッチの **強/標準** ボタンを押す

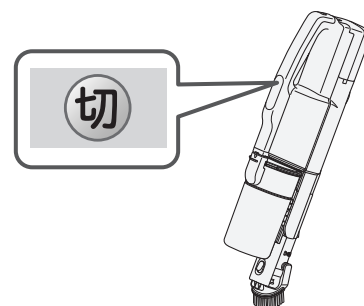
強/標準 ボタンを押すごとに、「強」→「標準」→「強」……の順に切り替わります。

連続使用時間は「強」：約15分、「標準」：約40分です。
※寒いところでは運転時間が短くなる場合があります。



4

運転を止めたいときは **切** ボタンを押す



5

ご使用後はスティッククリーナー本体に取り付け、充電する→(P.10)

ハンディブラシを回転させた場合は、元に戻してからスティッククリーナー本体に取り付け、充電してください。

お掃除のしかた

パワーヘッド

■床面に合った使いかた

パワーヘッドを前後に動かしたり、床面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん

前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。
初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

フローリング・畳

床面の傷つき防止のため、フローリングや畳の目にそって動かします。

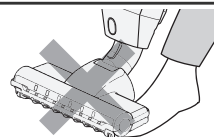
- 新しい畳をお掃除する場合、畳表面に磨かれた跡が付くことがあります。
- パワーヘッドを手前に引いたとき、床面にほこりが残る場合は、パワーヘッドを一度持ち上げてほこりの手前側から吸い取ってください。



警告

けがのおそれあり

パワーヘッドを引くときに、体の一部(足の上など)に乗り上げない
回転ブラシに巻き込まれるおそれがあります。

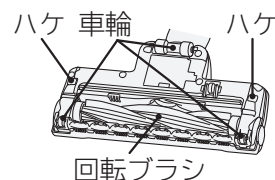
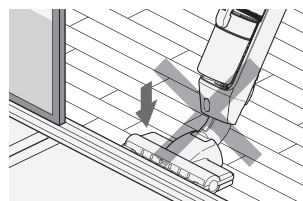


注意

床面に傷を付けるおそれあり

運転中はパワーヘッドを同じ位置に止めたままにしない
パワーヘッドを床面に強く押しつけない

- 特にひのきやクッションフロア※などの傷つきやすい床の場合、床面に傷や色を付けることがありますのでご使用をお控えください。
※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のある床材のことです。
- 敷居の段差などにパワーヘッドを強く押しつけてご使用になると、車輪などが摩耗し、床面に傷を付けることがあります。
- 車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの原因となります。
定期的にお手入れ(月1回程度)をしてください。→(P.22、23)
- 長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。摩耗したままパワーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。「ハケ、車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.30)「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.31)

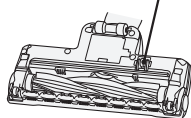


お願い

- 毛足の長いじゅうたんなど床面の種類によっては、操作が重くなる場合があります。
このようなときは、「標準」運転に切り替えてください。
- 吸込力が弱くなると、パワーヘッドの吸込口にほこりが残ることがあります。
このようなときは、各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。→(P.19~21)
- 床面にパワーヘッドの跡が残る場合がありますので、強く押し当てないでください。
パワーヘッドの跡がついた場合は、その場所でのご使用をお控えいただき、やわらかい布などで取り除いてください。

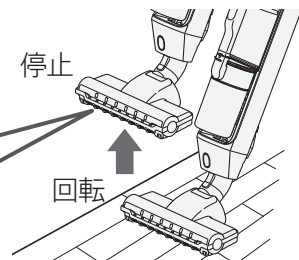
■パワーヘッドの持ち上げ停止スイッチ

持ち上げ停止スイッチ



停止

回転



パワーヘッドを床面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが作動して、回転ブラシの回転が止まります。

持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは→(P.22)



警告

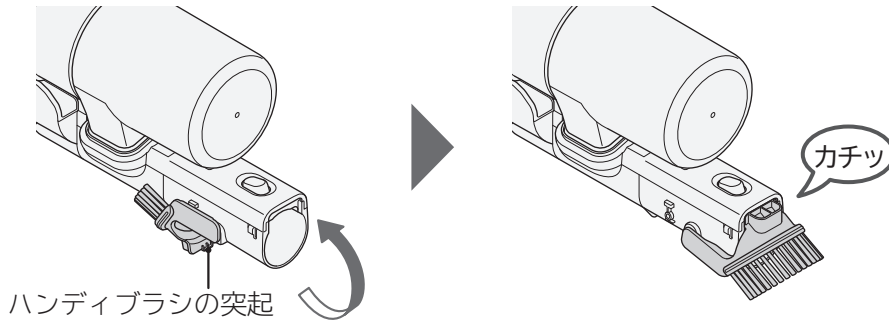
けがのおそれあり

パワーヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

お掃除のしかた(続き)

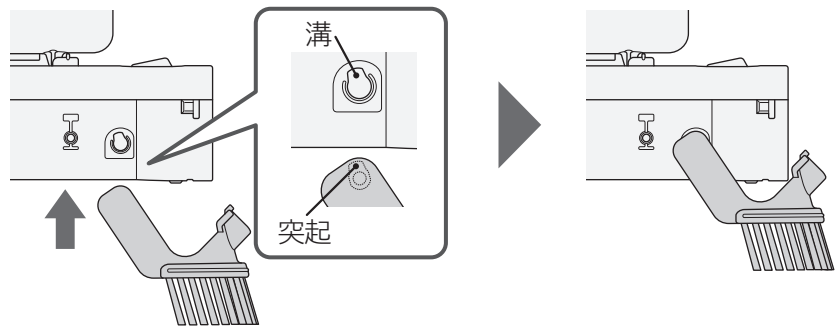
ハンディブラシ

ハンディブラシの突起を持って矢印の方向に回転させ、先端に固定してください。



ハンディブラシが外れた場合

ハンディクリーナー本体の溝とハンディブラシの突起部をはめ合わせてください。反対側も同様の手順で取り付けてください。



- お願い**
- ハンディブラシを強くぶつけないでください。ハンディクリーナー本体から外れる場合があります。
 - 無理な力を加えると破損するおそれがあります。
- ハンディブラシを床面に強く押し当てると、破損・亀裂・床面の傷つきのおそれがあります。

⚠ 注意

けがをするおそれあり

ハンディブラシを固定するときは、手を挟まないように側面を持って回転させてください。

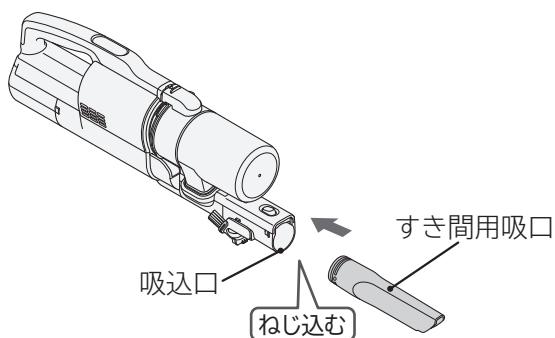
傷をつけるおそれあり

- ハンディブラシを使用せずに、ハンディクリーナー本体の先端でお掃除しないでください。
- ピアノなど特に傷つきやすい場所には押し付けしないでください。

すき間用吸口

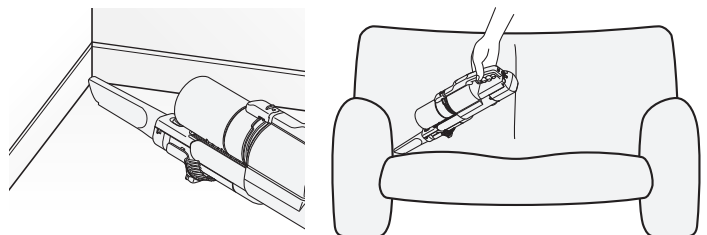
狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

ハンディクリーナー本体の吸込口にねじ込んでご使用ください。



お部屋の隅のお掃除に

ソファの隅などのお掃除に



⚠ 注意

傷をつけるおそれあり

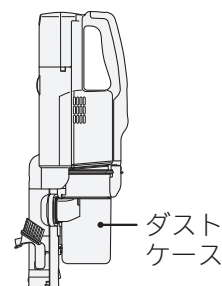
すき間用吸口をスティッククリーナー本体に取り付けてお掃除しないでください。

ごみの捨てかた

サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、お掃除のたびのごみ捨てと、こまめなフィルターのお手入れをおすすめします。

- ダストケースのごみは、「ごみすてライン」(目安)を超える前に捨ててください。「ごみすてライン」を超えると、ごみが出にくい場合があります。
- ごみの種類やたまりかたによっては、ごみが回転しない場合がありますが、異常ではありません。

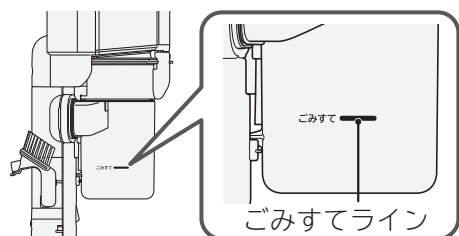
お願い ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。



お掃除のしかた

ごみすてラインの確認のしかた

ダストケース内のごみが「ごみすてライン」を超えていないか確認する



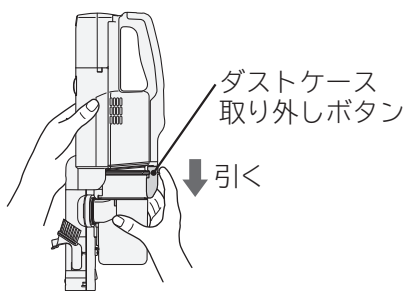
ごみ捨ての際は、ダストケース、クリーンフィルター、内筒フィルター、内筒キャップに付いたごみも捨ててください。→(P.15~18)

ダストケースのごみの捨てかた

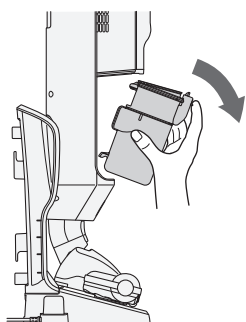
1

ダストケースを取り外す

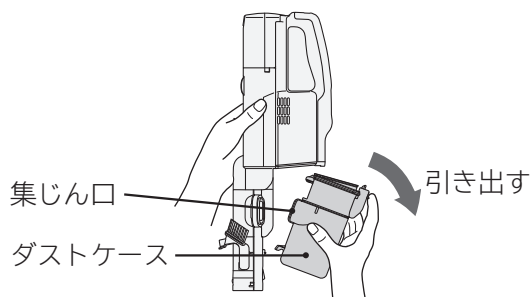
- 1** ダストケースを持ち、ダストケース取り外しボタンを引く



スティッククリーナー本体のままで取り外すことができます。



- 2** ダストケースを矢印の方向に引き出す



お願い

- 本体を寝かせた状態でダストケースを取り出さないでください。ごみがこぼれる場合があります。
- 本体内にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元通りダストケースを取り付けてください。
- ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けしないでください。ごみがこぼれる場合があります。

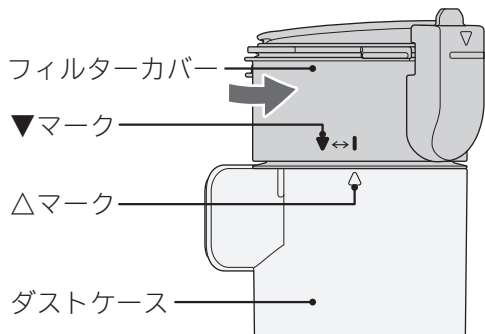
ごみの捨てかた

ごみの捨てかた(続き)

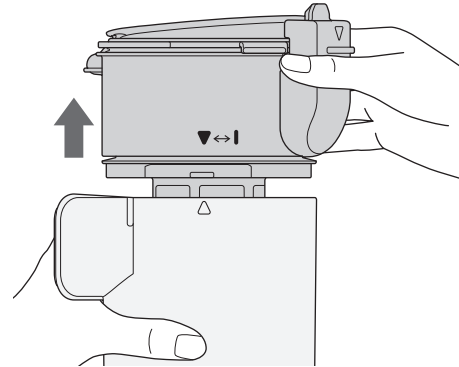
2

フィルターカバーを取り外す

1 フィルターカバーの▼マークを、ダストケースの△マークの方向に回す



2 フィルターカバーをまっすぐ持ち上げる



お願い 持ち上げるときにゴミがこぼれる場合があります。新聞紙などの上で取り外してください。

注意

けがのおそれあり

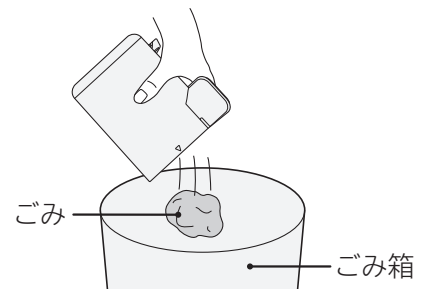
ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

3

ごみを捨てる

お願い

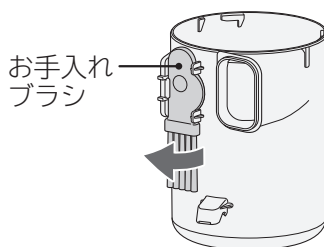
ごみの種類やたまりかたによっては、ゴミが出にくい場合があります。ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えゴミを出してください。



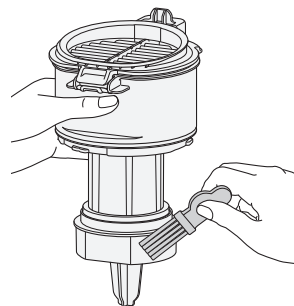
4

付着しているゴミを取り除く

1 ダストケース背面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す



2 お手入れブラシでゴミやほこりを取り除く



注意

けがのおそれあり

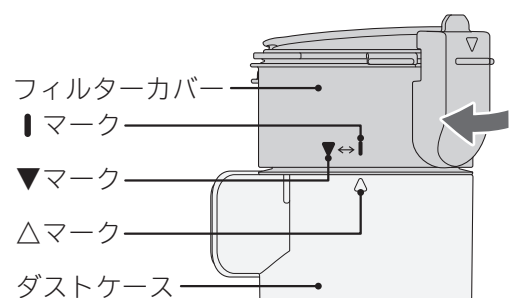
ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

5

フィルターカバーを取り付ける

フィルターカバーの▼マークを、ダストケースの△マークに合わせ、Iマークを△マークに合わせるように回してください。

フィルターカバーを引っ張って、外れないことを確認してください。



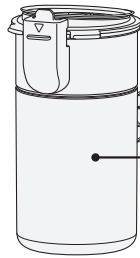
各フィルターのごみの捨てかた

クリーンフィルター

1

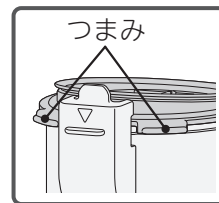
クリーンフィルターを開ける

1 ダストケースを置く

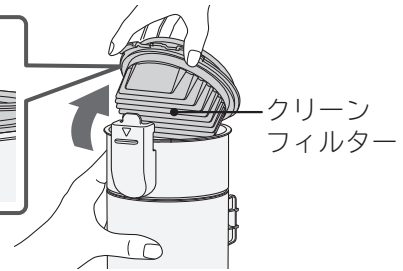


ダストケース

2 ダストケース下部をおさえながら、クリーンフィルターのつまみを上に持ち上げて、矢印の方向に開ける



つまみ



クリーンフィルター

2

クリーンフィルターのごみを取り除く

1 クリーンフィルターを取り外す

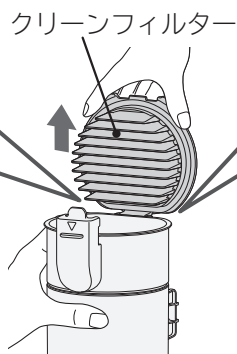


スポンジフィルター

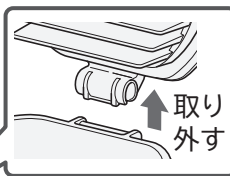
スポンジフィルターの汚れが気になるときは、お手入れ(水洗い)してください。
(→P.20)

お願い

お手入れした場合は、スポンジフィルターを必ず取り付けてください。



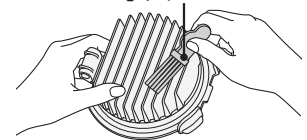
クリーンフィルター



取り外す

2 付着しているごみをお手入れブラシで取り除く

お手入れブラシ



お願い

- ごみを取り除くときは、クリーンフィルターを床面などでたたかないでください。破損の原因となります。
- お手入れするときは付属のお手入れブラシを使用してください。

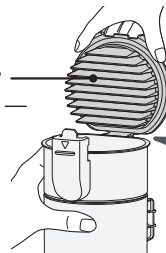
ごみを取り除いても汚れが気になるとき、または吸込力が弱いときは、お手入れ(水洗い)してください。→(P.19)

3

クリーンフィルターを取り付ける

取り外した逆の手順で取り付けます。

クリーンフィルター



取り付ける

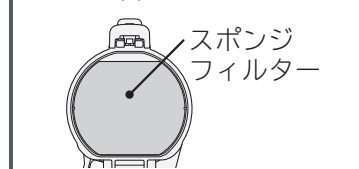
4

クリーンフィルターを閉める

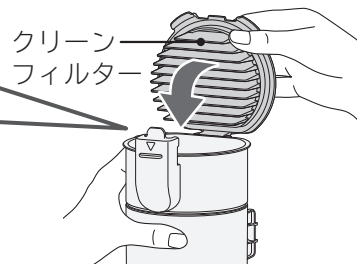
クリーンフィルターを「カチッ」と音がするまで閉めます。

お願い

スポンジフィルターがあることを確認してください。



スポンジフィルター



クリーンフィルター

カチッ



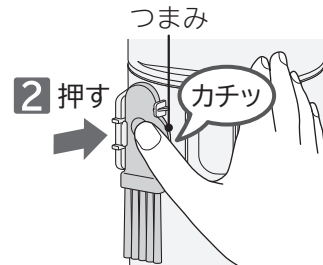
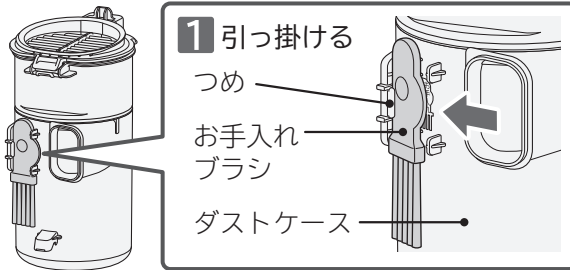
ごみの捨てかた(続き)

5

お手入れブラシをダストケース背面に取り付ける

1 お手入れブラシをダストケースの
つめに引っ掛ける

2 お手入れブラシのつまみを「カチッ」と
音がするまでしっかり取り付ける



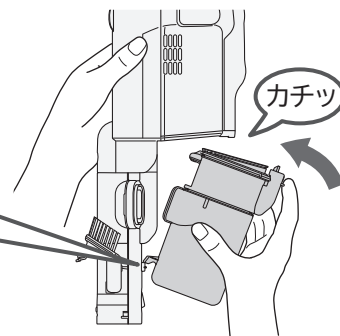
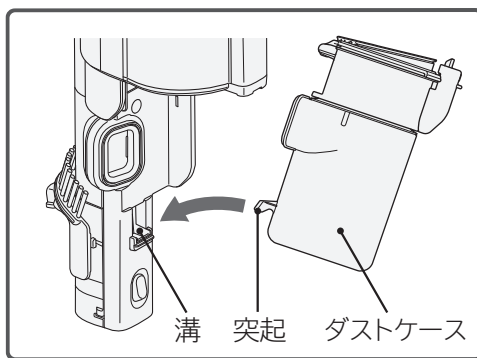
お願い お手入れブラシがダストケース背面にしっかり取り付けられていない状態でダストケースをハンディクリーナー本体に取り付けて運転した場合、ダストケースからお手入れブラシが外れる場合があります。
お手入れブラシは、ダストケース背面に奥までしっかり取り付けてください。

ダストケースの取り付けかた

ダストケースを取り付ける

1 ダストケースの突起を、ハンディクリーナー
本体の溝に引っ掛ける

2 ダストケースを「カチッ」と音がするまで
しっかり取り付ける



お手入れのしかた

強い吸込力でお掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。

本体・標準付属品・付属応用部品

汚れが気になるときはお手入れしてください。

やわらかい布に水を含ませ、よく絞ってからふいてください。



警告

爆発・火災・感電・けがのおそれあり

- 充電台のお手入れの際は、充電台の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のお手入れの際は、充電台からスティッククリーナー本体を取り外してください。
- 引火性のもの、可燃物(シンナー、ベンジン)などを使用しないでください。



注意

けがのおそれあり

本体のお手入れの際は、運転を止めてください。

お願い

アルコール、洗剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。
ひび割れや変色の原因となります。

水洗いできる部品

お手入れブラシ、すき間用吸口 →(P.14)、クリーンフィルター・スポンジフィルター →(P.19、20)、フィルターカバー・内筒キャップ・ダストケース →(P.20、21)、回転ブラシ →(P.23) は水洗いができます。

それ以外の付属品・部品は水洗いができません。

水洗いした場合は、陰干しにして十分に自然乾燥させてください。クリーンフィルター、スポンジフィルター、回転ブラシの乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

お願い

お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でお手入れをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

各フィルターのお手入れ(水洗い)

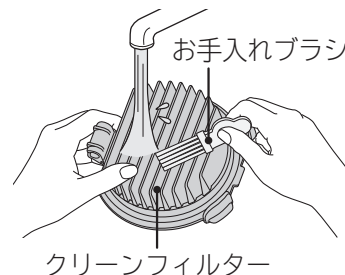
「吸込力が弱くなった」ときは、水洗いしてください。

クリーンフィルター・スポンジフィルター

1

お手入れブラシで水洗いする

- 付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
- クリーンフィルターを取り外して水洗いしてください。
→(P.17)
- クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを水で流してください。



注意

けがのおそれあり

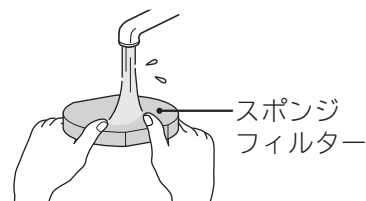
ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
注意してお手入れしてください。

お願い

お手入れするときは付属のお手入れブラシを使用してください。

お手入れのしかた(続き)

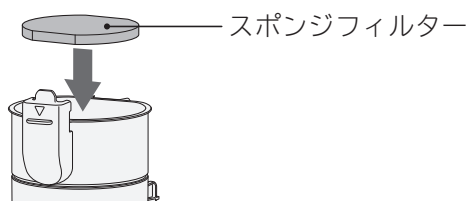
2 スポンジフィルターを水で軽く押し洗いする



3 自然乾燥させる

- 陰干しにして十分に自然乾燥させてください。クリーンフィルター、スポンジフィルターの乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)
- ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や破損・変形の原因となります。

4 スポンジフィルターを取り付ける



- お願い**
- スポンジフィルターは必ず取り付けてください。フィルターの早期目詰まり、異音発生の原因となります。
 - 水洗い後は、陰干しにして十分に自然乾燥させてから取り付けてください。ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。

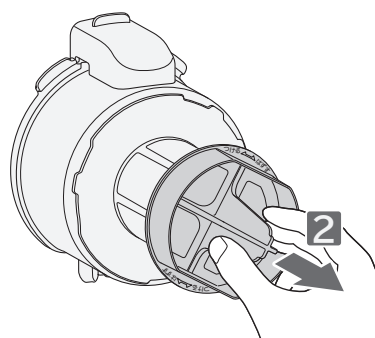
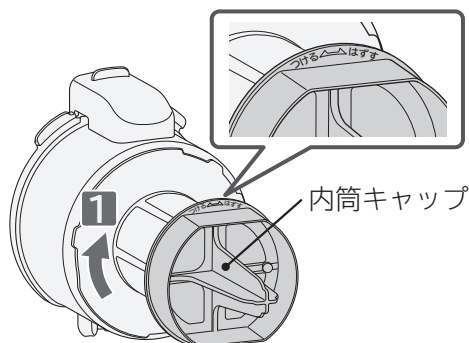
5 クリーンフィルターを取り付ける→(P.17)

フィルターカバー・内筒キャップ

1 フィルターカバーを取り外し→(P.16)、内筒キャップを取り外す

1 内筒キャップを「はずす」の方向に止まるまで回す

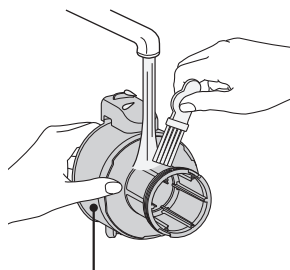
2 内筒キャップをまっすぐ引き抜く



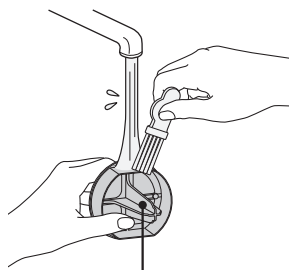
- お願い**
- 引き抜くときにごみがこぼれる場合があります。新聞紙などの上で外してください。

2

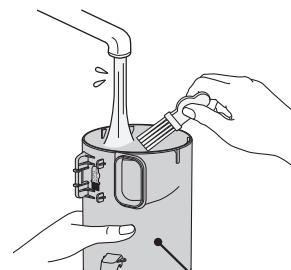
フィルターカバー・内筒キャップ・ダストケースを水洗いする



フィルターカバー



内筒キャップ



ダストケース

- お願い**
- 付着しているごみは軽く落としてから水洗いしてください。
 - 内筒フィルターは水洗い後によく水を切ってください。

3

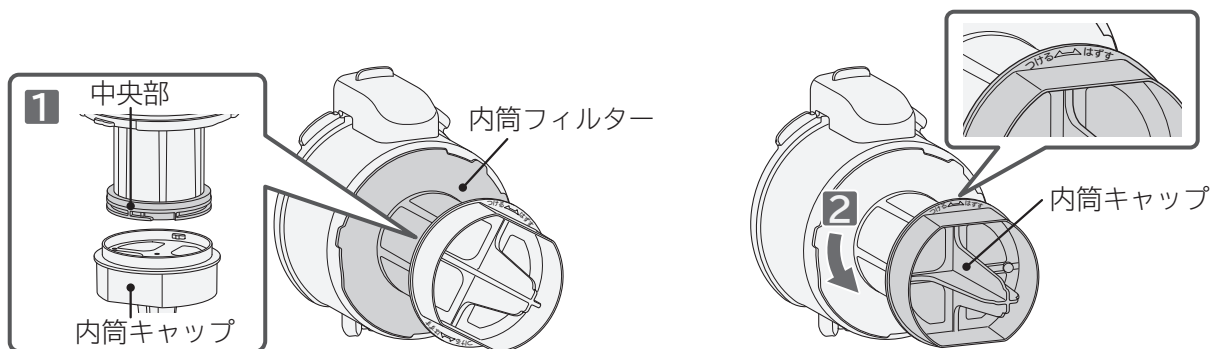
自然乾燥させる

- 陰干しにして十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
- ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
性能の低下や破損・変形の原因となります。

4

内筒キャップを取り付け、フィルターカバーを取り付ける→(P.16)

- 1 内筒フィルターの中央部に内筒キャップを合わせる
- 2 内筒キャップを押し込みながら「つける」の方向に「カチッ」と音がするまで回す



- お願い** 内筒キャップはしっかり取り付けてください。ごみ捨ての際に、内筒キャップが落下したり、しっかり取り付けていない状態で本体を運転した場合、内筒キャップ付近から異音が発生することがあります。



注意

ハンディクリーナー本体故障のおそれあり

ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。
モーター部にごみが侵入するとモーターが破損したり、ハンディクリーナー本体内部のフィルターが目詰まりして、ハンディクリーナー本体から異音が発生することがあります。
その場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。→(P.30)

- お願い** 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルター、スポンジフィルターなどの劣化が考えられます。
取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
→(P.30)

お手入れのしかた(パワーヘッド)

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。

●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回転部にゴミが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

回転ブラシや回転ブラシの軸部にゴミが絡みついたままご使用になると、故障の原因となります。



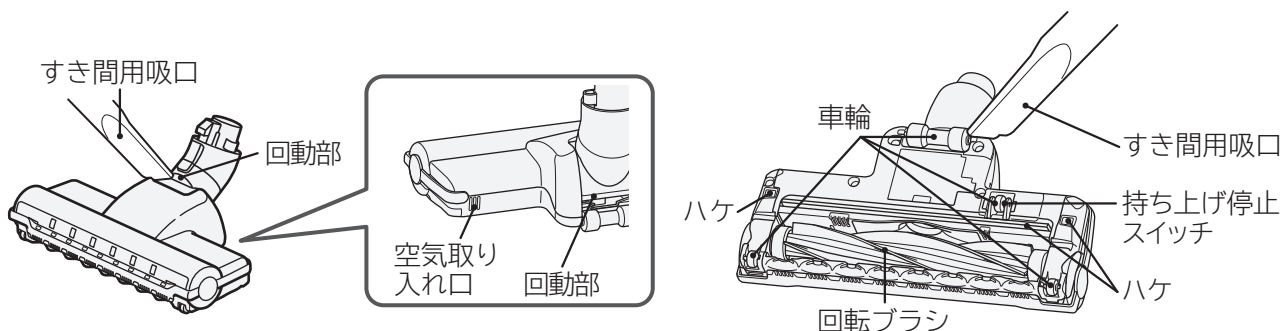
注意

けがのおそれあり

お手入れの際は、スティッククリーナー本体から取り外してください。

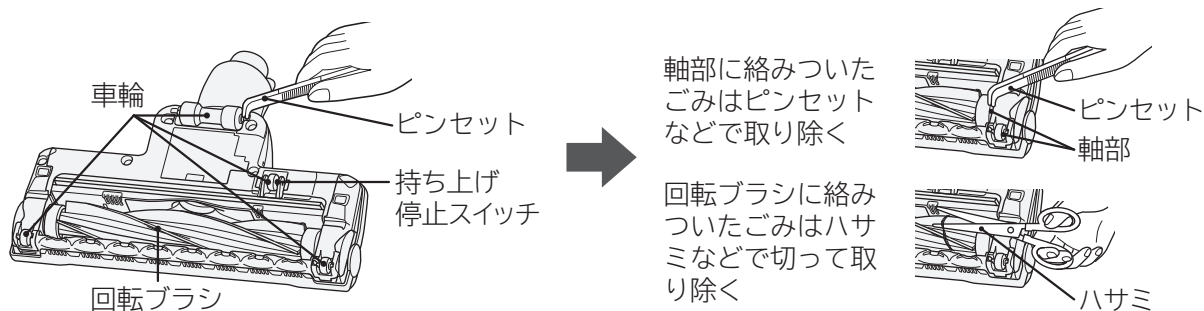
付着しているゴミを取り除く

付着しているゴミを、すき間用吸口などを使って吸い取ってください。



絡みついたゴミを取り除く

絡みついたゴミを、ピンセットなどで取り除いてください。



注意

故障・床面に傷を付けるおそれあり

●車輪にゴミが絡みつくと、車輪が回転できず、故障や摩耗、床傷つけの原因となります。

●長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、回転ブラシ」が摩耗することがあります。

摩耗したままパワーヘッドをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。

「ハケ、車輪」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。

→(P.30)

「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.31)

お願い

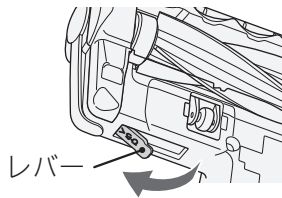
持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

回転ブラシをお手入れする

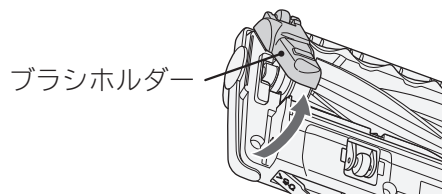
1

ブラシホルダーを取り外す

1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く

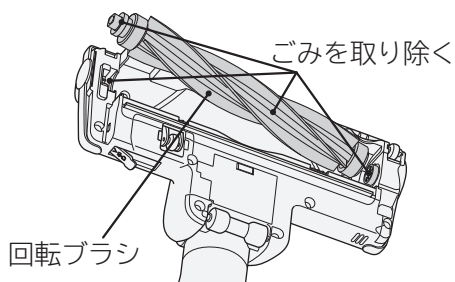


2 ブラシホルダーを取り外す

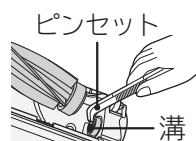


2

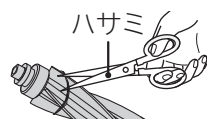
回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く



溝に絡みついたごみは
ピンセットなどで取り
除く

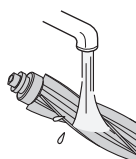


回転ブラシに絡みついた
ごみはハサミなどで切っ
て取り除く

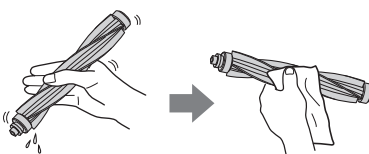


回転ブラシを水洗いする場合

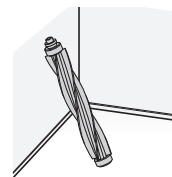
1 水洗いする



2 振って水気を切る



3 十分に自然乾燥させる



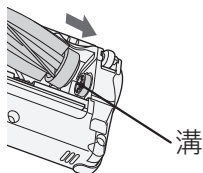
立てかけて、
陰干しにする

お願い ●洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形などの原因となります。
●回転ブラシを水洗いした場合は、陰干しにして十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は環境や季節によって異なります)

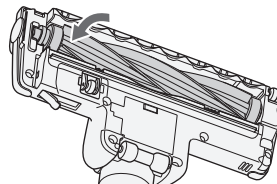
3

回転ブラシを溝に合わせ、元どおり取り付ける

1 回転ブラシを溝に合わせる



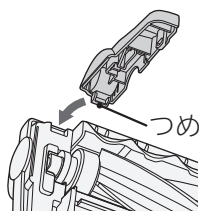
2 元どおり取り付ける



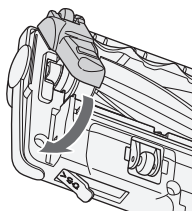
4

ブラシホルダーを取り付ける

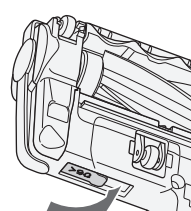
1 つめを引っ掛ける



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



お願い ブラシホルダーを取り付ける際には、つめを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。

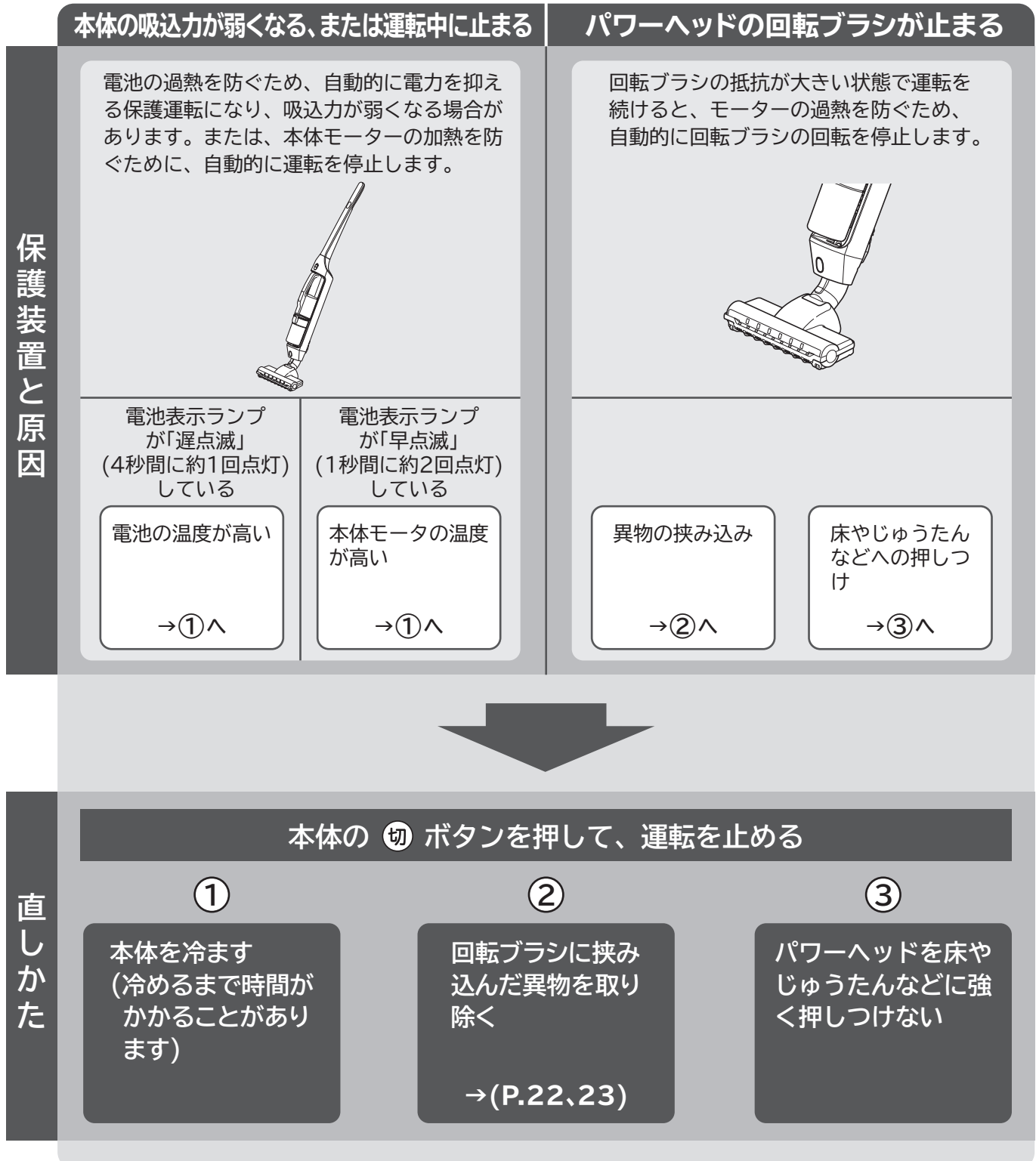
お困りのとき

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

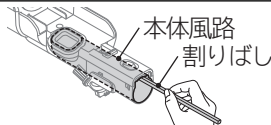
本体が運転しない、または運転中に止まる。吸込力が弱い。回転ブラシが止まる。

保護装置が作動している場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。



約5分後～60分後に保護装置が解除され、通常運転でご使用いただけます。

■その他の症状

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
運転中に吸込力が弱くなる	電池の残量が少なくなっていますか。 〔電池表示ランプが「点滅」する(1秒間に約1回点灯)〕	充電してください。	P.10
	電池表示ランプが遅点滅(4秒間に約1回点灯)していませんか。	「切」ボタンを押して運転を止め、本体が冷めてから、再び運転してください。	P.24
	直射日光の当たる場所、炎天下の車内など温度が高い使用環境で「強」の連続運転を行うと、電池の過熱を防ぐため保護装置が作動し、吸込力が弱くなります。電池表示ランプが遅点滅します。		
	ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	ダストケースのごみを捨ててください。	P.15 P.16
	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.17～ P.21
	本体風路にごみが詰まっていますか。	割りばしなどでごみを取り除いてください。 	—
	パワーヘッドにごみが詰まっていますか。	ごみを取り除いてください。	P.22 P.23
運転しない、または運転中に止まる	電池の残量が少なくなっていますか。 〔電池表示ランプが「点滅」する(1秒間に約1回点灯)〕	充電してください。	P.10
	排気が異常に熱くなっていますか。 〔電池表示ランプが「早点滅」する(1秒間に約2回点灯)〕	本体が冷めてから再び運転してください。本体が冷めても運転しない場合は、電池が消耗しているか、電池故障または本体の故障のお知らせです。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。	P.24 P.30
	充電中ではありませんか。	スティッククリーナー本体を充電台から取り外してください。	—
	ハンディクリーナー本体がスティッククリーナー本体に確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	P.12
充電しても運転時間が短い	室温が5℃未満または35℃以上になっていませんか。	室温が5℃以上35℃未満のところでご使用ください。運転時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。	P.7 P.10
	寒いところで運転していませんか。	室温が5℃以上35℃未満のところに本体をしばらく置き、再び運転してください。	P.7 P.10
	長期間、充電せずに本体を放置していませんかでしたか。	電池の容量が一時的に回復しにくくなっていることがあります。運転が止まるまで使用し、再度充電完了まで充電する操作を2～3回繰り返してください。	P.10
	電池が消耗していませんか。	正しく充電し、各フィルターのお手入れ(水洗い)をしても、運転時間が著しく短い場合は、電池が消耗しています。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。	P.15～ P.21 P.30
排気や本体があたたかくなる(運転中)	空気の流れてモーターを冷却しているためで、異常ではありません。		—
本体や充電台があたたかくなる(充電中)	制御回路に電流が流れるためあたたかくなりますが、異常ではありません。		—
排気から異臭がする	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.19～ P.21
	水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではありませんか。	水洗い後は、陰干しにして十分に自然乾燥させてください。	

お困りのとき(続き)

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
ダストケース付近から異音が出る	ダストケース、フィルターカバー、内筒キャップ、クリーンフィルターが確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	P.17、P.18 P.20、P.21
	本体風路にごみが詰まっていませんか。	割りばしなどでごみを取り除いてください。	—
ダストケースのごみが回転しない	ごみの種類やたまりかたによっては、ごみが回転しない場合がありますが、異常ではありません。		—
ダストケースを取り外した際、ごみが本体からこぼれる	ダストケースのごみが、「ごみすてライン」を超えていませんか。	「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。	P.15 P.16
付属品を取り外す際にごみがこぼれる	ダストケースのごみが、「ごみすてライン」を超えていませんか。	「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。	P.15 P.16
	吸込口や吸口を上に向けたまま運転を止めると、本体風路にごみが残ることがあります。吸込口やパワーヘッドを下に向けてから運転を止めてください。		—
パワーヘッドの回転ブラシが止まるまたは回転しにくい	電池の残量が少なくなっていますか。〔電池表示ランプが「点滅」する(1秒間に約1回点灯)〕	充電してください。	P.10
	スティッククリーナー本体にハンディクリーナー本体、パワーヘッドが確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	P.2
	パワーヘッドが床面から浮いていませんか。	床面から浮かせると止まる構造になっています。パワーヘッドを床面につけてください。	P.13
	回転ブラシ、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.22 P.23
	異物を挟み込んでいませんか。	保護装置が作動しています。異物を取り除き、しばらくしてから再度運転してください。	P.24
	床やじゅうたんに強く押しつけていませんか。	保護装置が作動しています。しばらくしてから再度運転してください。	
パワーヘッドの回転ブラシが回転しない	ハンディクリーナー運転スイッチを押して運転していませんか。	スティッククリーナー運転スイッチを押してください。	P.11
	保護装置が作動しています。しばらくしてから再度運転してください。		P.24
LEDライトが暗い	電池の残量が少なくなっていますか。	充電してください。	P.10
パワーヘッドからカラカラと音がる	持ち上げ停止スイッチの構造上、発生する音です。異常ではありません。		—
本体を充電しても、電池表示ランプが点灯しない	充電台の電源プラグが、コンセントに確実に差し込まれていますか。	確実に差し込んでください。	P.10
	スティッククリーナー本体が充電台に確実にセットされていますか。	スティッククリーナー本体と充電台のアームにすき間がないようにセットし直してください。	
	ハンディクリーナー本体がスティッククリーナー本体に確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	
	充電が完了していませんか。	充電が完了すると、表示ランプは消灯します。	
	充電台またはスティッククリーナー本体の金属端子部が汚れていませんか。	乾いた布で端子の汚れを取り除いてください。	—
	長期間、充電せずに本体を運転しない状態で放置しませんでしたか。放置していたときは、電池の性能や寿命が低下することがあり、電池の交換が必要な場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。		P.30

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
充電中に電池表示ランプが早点滅する (1秒間に約2回点灯)	付属の充電台を使用していますか。	付属の充電台以外は使用しないでください。	P.10
	室温が5℃未満または35℃以上になっていませんか。	室温が5℃以上35℃未満のところで充電し直してください。	P.10
	電池が消耗しているか、電池または充電台の故障です。 お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。		P.30
運転中に電池表示ランプが早点滅する (1秒間に約2回点灯)	電池が消耗しているか、電池故障または本体の故障のお知らせです。 お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。		P.30
電池表示ランプが遅点滅する (4秒間に約1回点灯)	電池の過熱を防ぐための保護運転のお知らせです。	本体が冷めてから、再び運転してください。	P.24
充電時間が長い	本体を充電台にセットするとき、本体が熱くなっていますでしたか。	保護装置が働いたため、異常ではありません。充電が完了すると、電池表示ランプが消灯します。	P.9～ P.10
	室温が5℃未満または35℃以上になっていませんか。	室温が5℃以上35℃未満のところで充電し直してください。	P.7 P.10
	充電時間は周囲温度・使用時間などの条件により、長くなることがあります。		P.10
	10時間以上充電しても電池表示ランプが消えない場合は、機器の故障と考えられますので、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。		P.30
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。	P.30

電池の交換について

電池は消耗品です。繰り返し使用することで使用時間が徐々に短くなります。正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。電池を交換してください。電池の寿命などにより、製品を廃棄せず電池のみを交換する際は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

→(P.30)

(電池の寿命は周囲の温度、使用頻度など、お使いの環境・条件によって異なります)

お客様のご要望により、部品交換いたします。部品代のほかに交換作業費がかかります。

製品の廃棄のしかた

⚠ 危険



- 電池は、本機以外の機器に接続しない
また、電池を分解・改造・はんだ付けしたり、単独で充電しない
電池の交換をしない
漏液・発熱・破裂・発煙・発火・感電・けがの原因となります。
- 一度、電池の取り外しを試みた本体は使用しない(ねじの取り外しなどを行ったもの)
- 本体を運転した状態では電池を取り外さない
発煙・発火・感電・けがの原因となります。

電池を取り外す人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、「安全上のご注意」→(P.4～7)をよくお読みのうえ、製品を廃棄してください。

電池のリサイクル(製品を廃棄するとき)

この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。



Li-ion 20

製品を廃棄するときは、以下の手順で電池を外し、お買い上げの販売店、またはリサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体にお問い合わせのうえ、リサイクルにご協力をお願いいたします。 ※自治体により、回収のルールが異なります。

電池の取り外しかた（製品を廃棄するとき）

電池を取り外すときは、下記の物を準備し、手順に従い正しく作業してください。

【準備するもの】 プラスドライバー、ニッパ、ビニールテープ

1 本体が完全に動かなくなるまで電池を使い切る



警告

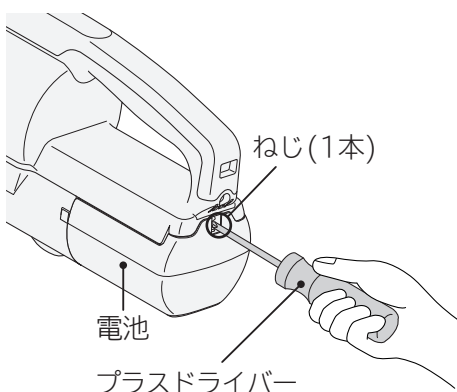
感電・けがのおそれあり

電池を使い切っていないと、電池を取り出す際に、モーターが動くことがあります。

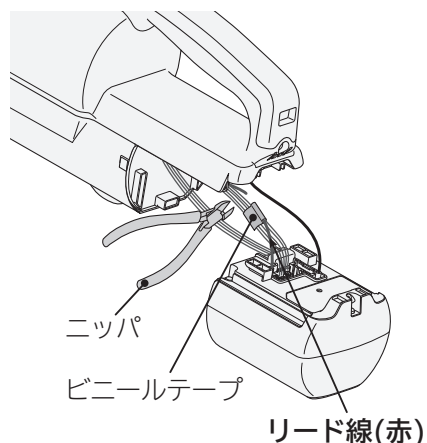
2 ハンディクリーナー本体を取り外し→(P.12)、ダストケースを外す→(P.15)

3 電池を取り外す（製品を廃棄するとき）

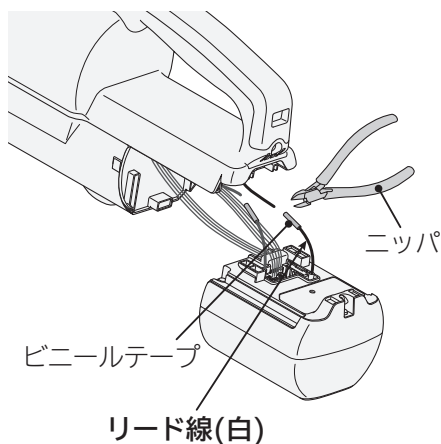
- 1 電池を固定しているねじ1本をプラスドライバーで外す



- 2 電池を引き出し、電池と本体をつないでいる赤色のリード線を、電池から約2cmの位置でニッパなどで切断し、1本ずつビニールテープを巻いて絶縁する



- 3 残りのすべてのリード線を1本ずつ電池から約2cmの位置でニッパなどで切断し、ビニールテープを巻いて絶縁する



警告

火災・感電・けがのおそれあり

- 電池を取り出すときは、運転スイッチを押さないでください。
モーターが動くおそれがあります。
- リード線を切断するときは、1本ずつ別々に切断し、1本ずつビニールテープを巻いて絶縁してください。
- 電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。
感電・けがの原因となります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書

●この商品は保証書付きです。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。 ただし、電池やフィルター、ブラシなどは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、修理させていただきます。 [持込修理対象商品]
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは（持込修理）

「お困りのとき」→(P.24~27)に従って調べていただき、
なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理を依頼されるため、販売店にお持ちの際は、標準付属品〔パワーヘッド、充電台（ベース・アーム）〕もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

1.型式:PV-B300H 2.症状:できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 商品のデザイン、定格、仕様、補修用性能部品等は改良等のため、予告なく一部変更することがあります。

愛情点検



長年ご使用の掃除機の点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がある
- 本体が変形したり、異常に熱い
- 電源コードが破損しているまたは異常に熱い
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用
中 止

事故防止のため、
すぐに運転を止め、
充電台の電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

この製品の使い方・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、いただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話 050-3155-1111 (有料)
FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間) 9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

- 「持込修理」については、上記窓口より各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

長時間ご使用になるとき

- 一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)でご使用になる場合には、短期間で部品の交換(パワーヘッドや、リチウムイオン電池など)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用になることをおすすめします。
- このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居されるとき

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

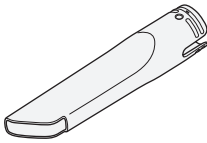
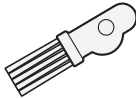
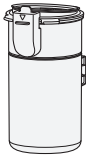
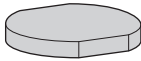
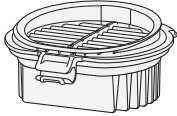
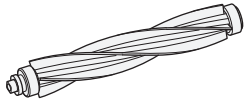
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。サービスエンジニアの person 費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

別売り部品

すき間用吸口	お手入れブラシ	ダストケース
 サービスパーツ PV-B300H-012 すき間用吸口B3Hとご指定ください 希望小売価格 330円(税込)	 サービスパーツ PV-BHL1000J1-004 お手入れブラシとご指定ください 希望小売価格 440円(税込)	 サービスパーツ PV-B300H-007 ダストケースクミB3Hとご指定ください 希望小売価格 6,600円(税込)
スポンジフィルター	クリーンフィルター	回転ブラシ
 サービスパーツ PV-BJ700G-014 スポンジフィルターとご指定ください 希望小売価格 385円(税込)	 サービスパーツ PV-B300H-009 クリーンフィルターB3Hとご指定ください 希望小売価格 1,320円(税込)	 サービスパーツ PV-B200G-004 回転ブラシとご指定ください 希望小売価格 2,640円(税込)
●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。 ●電池は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。		
部品のご購入は		詳しくはこちら
部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。 日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 https://parts.hitachi-cm.com/pshop/		

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

品 名		充電式掃除機					
型 式		PV-B300H					
本 体	定格電圧		DC18V		充 電 台	入力	AC100V 50-60Hz 0.25A
	公称容量		2,000mAh			出力	DC21.4V 0.6A
	集じん容積		0.15L			充電時間	約4時間(室温や使用時間 などにより異なります)
	使用電池		リチウムイオン電池(セル数5本)			コードの長さ	1.2m
	連続使用時間		強 : 約15分 標準 : 約40分 (満充電、電池初期、20℃時)			外形寸法	長さ205mm×幅280mm ×高さ340mm
	寸法	スティッククリーナー	長さ170mm×幅270mm×高さ1,100mm				
		ハンディクリーナー	長さ427mm×幅85mm×高さ174mm				
	質量	スティッククリーナー	2.6kg			質量	1.2kg
		ハンディクリーナー	1.1kg				
標準付属品			パワーヘッド……………1個		充電台(ベース、アーム)……………各1個		
付属応用部品			すき間用吸口……………1個		ハンディブラシ……………1個	お手入れブラシ……………1個	

※使用時間は周囲温度などの条件で異なります。

保証とアフターサービス
別売り部品 仕様

日立充電式掃除機 保証書

持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

型式	PV-B300H		※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
			年 月 日	本体：1 年
※お客様	ご 住 所 _____ お 名 前 _____ 様 電 話 _____ () _____			
※販売店	ご 住 所 _____ お 名 前 _____ 様 電 話 _____ () _____			

※印欄に記入のない場合は無効となります。
 記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 (ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
 (ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
 (ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
 (ホ)業務用に使用されて生じた故障および損傷。
 (ヘ)本書のご提示がない場合。
 (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 (チ)電池寿命による故障。
- この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口→(P.30)にご相談ください。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口→(P.30)にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「保証とアフターサービス」→(P.30)をご覧ください。

修理メモ
